

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	佐渡保育専門学校
設置者名	社会福祉法人勇樹会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉 専門課程	こども未来学科	夜・通信	600 時間	240 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://sadohoiku.com/about/public-info/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	佐渡保育専門学校
設置者名	社会福祉法人勇樹会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	佐渡保育専門学校 運営審議会
役割	佐渡保育専門学校（以下「学校」という。）の教育活動その他学校運営に必要な事項について審議することを目的とする。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
元佐渡市長	自 R3.4.1 至 R5.3.31	特別招聘講師
前本校非常勤講師	自 R3.4.1 至 R5.3.31	
(備考)		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	佐渡保育専門学校
設置者名	社会福祉法人勇樹会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>当該年度の全体授業計画については、前年度 11 月頃より担当者が素案の作成に着手する。各授業科目については、担当講師が到達目標、授業内容、授業形態、授業計画、評価、評価方法、教材などの授業計画書を作成する。学生には 4 月 1 週目のオリエンテーション時に配布するとともに外部に公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://sadohoiku.com/about/public-info/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>学修成果は、試験、作品、実技、実習、提出物、出欠状況、修学態度、レポートなどを総合的・多面的な評価に努める。なお、欠課時数が授業時数の 3 分の 2 に達していない者は、評価の対象外となる。</p> <p>成績評価の基準は、100 点法と段階法の 2 つで行い、その区分・換算方法は次の通り。</p> <p>100 点～80 点＝優、79 点～70 点＝良、69 点～60 点＝可、59 点以下＝不可。 成績表には優・良・可・不可の 4 段階で通知する。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://sadohoiku.com/about/public-info/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業時に保育者としての姿を有し、教育理念である「専門性」「人権意識」「自己研鑽」の知識と技術を以って、子どもたちの健やかな成長と発達を促し、地域の児童福祉・幼児教育の発展と向上に貢献できることを求める。</p> <p>卒業認定は、年度末までに各学年の所定の教育課程を履修し、所定の単位を修得した者には、卒業判定会議を経て卒業証書を授与する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://sadohoiku.com/about/public-info/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	佐渡保育専門学校
設置者名	社会福祉法人勇樹会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	(独) 福祉医療機構 社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムより閲覧 https://www.wam.go.jp/wamnet/zaihyoukaiji/pub/PUB0201000E00.do?_FORMID=PUB0211100&vo_headV0_corporationId=1615103225
収支計算書 又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による 監査報告 (書)	本部にて公表

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉	こども未来学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,730 単位時間	1,095 単位時間	990 単位時間	195 単位時間	0 単位時間	450 単位時間
			2,730 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
75人		34人	0人	3人	26人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>当該年度の全体授業計画については、前年度11月頃より担当者が素案の作成に着手する。各授業科目については、担当講師が到達目標、授業内容、授業形態、授業計画、評価方法、教材等の授業計画書を作成。学生には4月1週目のオリエンテーション時に配布するとともに外部に公表する。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>学修成果は、試験、作品、実技、実習、提出物、出欠状況、修学態度、レポートなどを総合的・多面的な評価に努める。なお、欠課時数が授業時数の3分の2に達していない者は、評価の対象外となる。</p> <p>成績評価の基準は、100点法と段階法の2つで行い、その区分・換算方法は次の通り。</p> <p>100点～80点＝優、79点～70点＝良、69点～60点＝可、59点以下＝不可。</p>

成績表には優・良・可・不可の4段階で通知する。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業時に保育者としての姿を有し、教育理念である「専門性」「人権意識」「自己研鑽」の知識と技術を以って、子どもたちの健やかな成長と発達を促し、地域の児童福祉・幼児教育の発展と向上に貢献できることを求める。</p> <p>卒業認定は、年度末までに各学年の所定の教育課程を履修し、所定の単位を修得した者には、卒業判定会議を経て卒業証書を授与する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>担任制を導入していることにより学生個々の修学状態を常に把握し、教職員が適時指導できる体制を整えている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	人 (%)	16人 (94.1%)	1人 (5.9%)
(主な就職、業界等) 保育園			
(就職指導内容) 年間 30 コマの就職対策特講の授業及び就職担当者を配置し随時、個別面談を行いながら指導する			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 保育士資格、幼稚園教諭二種免許状、社会福祉主事任用資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	1人	2.33%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別対応及び保護者との連携		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
こども 未来学科	50,000 円	600,000 円	300,000 円	本学スクーリング費用他 10 万円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
特待生制度：後期授業料半額免除 (15 万円)				
学費サポート制度：後期授業料半額免除 (15 万円)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://sadohoiku.com/about/public-info/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 教育方針、教育目標の達成に向け、課題を明確にしつつ更なる教育内容の向上を図ることを目的に、学校関係者評価委員会を設置し、自己評価についての客観的評価を受審する。実施方法については、毎年度 3 月に自己評価を実施し、7 月頃に結果を公表する。実施体制については、当委員会が評価項目の設定及び結果についての評価を行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
社会福祉法人勇樹会	自 R3. 4. 1 至 R5. 3. 31	専門分野における業界関係者
真野第 1 保育園	自 R3. 4. 1 至 R5. 3. 31	本校卒業生
真野第 1 保育園	自 R3. 4. 1 至 R5. 3. 31	その他必要と認める関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://sadohoiku.com/about/public-info/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://sadohoiku.com/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	佐渡保育専門学校
設置者名	社会福祉法人勇樹会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		一人	一人	一人
内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				一人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	一人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	一人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。